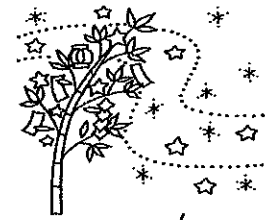




令和2年 7月の保育園だより



坂みみよう保育園

『タイムリーな発信を!!』

保育の見える化と緊急メール

先月初旬より携帯電話アプリ『キッズノート』を開始し、保護者の皆様にはお知らせをはじめとして保育場面のドキュメンテーションなど配信させていただいております。今月より園だより、クラスだより、行事予定、給食だより、給食献立表、ほけんだよりなども配信しますのでご確認ください。また、今後動画配信も予定しております。災害など緊急連絡もキッズノートでお知らせすることとなりますので、よろしくお願いたします。(坂町緊急連絡用ラインネットは、次年度より使用しません。)

『新型コロナウイルス感染症と新しい生活様式の中で』

～今できる大切なこと～

みみようグループの園長会では、新型コロナウイルス感染発生の頃から登園自粛解除後と色いろな情報を共有し感染拡大に繋がらないよう、対策や今後の保育内容について話し合ってきました。諸外国の情報や日本国内の発症状況を見ても感染第二波は心配なところです。

しかし松尾龍一理事長が『コロナウイルス感染症対策と7月の保育』(別紙園だより・7月1日付)で、このような状況であっても、新型コロナウイルス感染者が発生していない時には、感染症対策に最大の注意を払いながら、子どもたちが、興味を持ち集中して遊べることや子どもたちの発達を保護者の皆様に見ていただける行事も姿・形を変えることで可能であれば取り入れていきたいと述べられています。

ソーシャルディスタンス3密(密閉・密集・密接)を避けると言いますが、保育園はいつも3密に近い状況です。色いろな工夫はしているものの、保護者の皆様も心配なところだと思います。同時に保育園で、楽しい体験をさせてやりたいという保護者の強い思いもアンケート等で感じているところです。

登園自粛期間が終了し、ほぼ全員が揃ったクラスは、賑やかであり、自粛期間中登園をしていた子どもたちだけでは広がり難かったあそびもパワーアップし、お友達がいることの安心感や楽しさをそれぞれ子どもたちが味わっているようでした。

6月後半は、園の生活の慣れからか、ゴロゴロしたり、食欲がなかったり、イライラしていたりする子どもたちも見かけました。子ども達の心と身体の成長にとってこれまで以上に、あそびやスキ

ンシップ、子どもたちとの対話が重要になるのではないかという思いもより強くなりました。

このコロナ問題は大人の行動範囲に制限をかけ、働き方にも変化をもたらせ、世の中のしくみが変わり、今までの常識ではたちうちできない現状となっています。

保育園運営にもコロナ対策に限らず状況判断と創意工夫が求められています。「昨年までは、〇〇だったのに!」と保護者の皆様と思われる保育内容や行事があるかもしれませんが、毎日の保育の振り返りを今まで以上に大切にしながら、日々の子どもたちの姿を発信する工夫をしていきたいと思っています。

梅雨が明ければ、太陽のキラキラ輝く夏本番。子どもたちにとっては、試したり工夫したり、感触を味わったり、ダイナミックにあそびするあそびがいっぱいです。まさに主体的にあそび、学ぶ子どもたちを私達職員がどう読み取り、個性として認め、励まし、時には導き、環境を準備するかという職員の主体性が鍵ともなります。その主体性とは、心の育ちを読み取るだけではなく、知的好奇心を育む豊かな体験ができるよう、保育の質を問い直す努力をし続けていくことだと思っています。

コロナ感染による登園自粛期間中、家庭で過ごす機会の長かった保護者の皆様からは、子どもたちとの関わり方に不安を感じたとの声も寄せられています。7/11(土)の家庭学級講演会では、臨床心理士・新宅博明先生より、各発達年齢による親子関係の在り方について、講演していただく予定です。子どもたちが家庭や保育園の中で安心して過ごし、この夏を意欲的に過ごす、大人との関係作りのための基礎について、一緒に学び合ってみませんか。(園長 倉本弘子)

幼児クラスの保育参観・

家庭教育学級講演会

幼児クラスでは、先月クラス懇談会や給食参観を開催し、現在、年齢ごとに個人懇談も行われている途中です。子どもたちを真ん中に保護者の皆様と情報交換しながら、相互理解が出来ることを感謝申し上げます。たくさんのご参加ありがとうございました。

さて、今月は今年度初めての保育参観を下記の日程で開催します。日常の子ども達の現在(いま)を感じながら、意欲の原点である親子関係について学び合ひましょう。

さくらんぼ会教養部から事前アンケートで提出された質問事項についても答えていただく予定です。

日時：7月11日(土) 場所：坂みみよう保育園 保育参観(幼児)

登園～10時25分(各クラス)

家庭教育学級講演会(2Fホール)

午前10時30分～11時30分

演題：『意欲を育てる親子関係

～愛着形成とは～』

講師：臨床心理士

新宅博明先生

元広島市児童相談所所長

安田女子大短期大学部

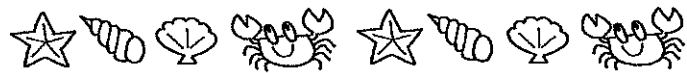
非常勤講師

微妙福祉会グループ園

巡回相談講師

※新型コロナウイルス感染防止のため、体調の悪い方の参加は見合わせてください。マスクの着用、手洗い、消毒にご協力のうえ、保護者同士の会話を最低限にとどめてください。

※未入園の子どもさんの託児申し込みは、7月2日(木)までに必要事項を記入の上、事務室まで提出してください。(坂町生涯学習課担当者来園)



『福祉サービス第三者評価』

受審結果について報告』

当園の保育園運営のサービス向上を目指し、令和2年1月16日(木)に、広島県社会福祉協議会による福祉サービス第三者評価を受審しました。6月25日(木)付けで結果報告が届き、概ね良好という結果をいただくことができました。なお、結果報告の詳しいことについては、WAM-NETにおいて、情報が開示されておりますので、保護者の皆様をはじめとして、何方でも閲覧できますのでご確認ください。受審することにより、職員同士で情報を共有しながら園内研修にもなりました。ご意見等真摯に受け止め、今後の運営に活かしていきたいと思ひます。

お泊り保育(年長児)

7月3日(金)～4日(土)に、

広島市青少年野外活動センターで一泊し、すいこう認定こども園、小屋浦みみよう保育園のお友達と交流します。

コロナウイルス感染症対策と7月の保育について

1 広島にコロナウイルス感染者が出ない間にできること

ありがたいことに、5月に入ってから広島県における新型コロナ感染者が出ていませんが、6月19日政府が県をまたぐ外出自粛規制を解除したのを受け、広島への人の往来が増えてくるものと思われます。先月の園だよりでもお伝えしましたが、乳幼児期の子どもたちは、あそびの中で身体全体を使っていろいろなことを学んでいます。また、その学びを群れの中で試しながら自分のものにしていくのが乳幼児期の特性です。乳幼児期は人生を生きる全ての基本的な力を身につける時です。新型コロナウイルス感染者が発生していない時には、感染症対策に最大の注意を払いながら、子どもたちが興味を持ち集中して遊べることや、子どもたちの発達を保護者の皆様に見て頂ける行事も、姿・形を変えることで可能であれば取り入れてまいりたいと思っています。

7月はコロナより熱中症が気になります。園児職員ともマスク着用をしないことがあります。

2 今後の園行事について…感染者が身近に発生した時は中止になります

- ① 年長児一泊保育…7月の前半と後半、広島市野外活動センターと広島市似島臨海少年自然の家において実施します。高校生の参加はなく、園児と職員のみ、各園とも1泊2日
活動内容および詳しい内容はクラス便りでお知らせします。
- ② 夏まつり…こども中心の出店ごっこや盆踊りなどで実施します。
- ③ 運動会 …園児と普段生活を共にする保護者だけで開催。未就園児や保護者番組等一部を取りやめます。卒園児徒競争は感染者が身近に発生しない限り実施の予定。
- ④ 保育参観…実施します。園児と普段生活を共にする保護者だけ。広い部屋など工夫します。
- ⑤ 個人懇談…実施します。時間予約を検討します。
- ⑥ 水あそび…実施します。プールも利用します。
- ⑦ 小学生交流会…来年度以降に延期。コロナ感染症が収束してから行います。
- ⑧ 作品展・バザー…園児と普段生活を共にする保護者だけで開催の予定。バザーにおける食品の提供は、業者から提供されたもの以外は原則として扱いません。

※ 生活発表会、園外保育等…コロナ感染症やインフルエンザ等の発生状態をみながら、開催場所や開催方法を考えながらできるだけ実施の予定。

3 当園の保育はコロナ感染者はいないことが前提です

園児の一人が新型コロナ感染症に罹患しても園を一定期間閉じることとなります。しかし、恐れて何もしないのでは子どもたちの楽しみを奪うこととなります。新型コロナ感染症は子どもが持ち込むのではなく、大人が感染地に行って感染してきたり、感染地から持ち込まれるのです。子どもたちの喜びを奪わないように、感染者が出ているところや普段接触していない人と接触した時は、感染防止に最大の注意を払ってください。お子さんを含め体調不良を感じたときは、園への出入りを遠慮するようにお願い致します。